

# 小児科診療 UP-to-DATE

2017年5月31日放送

## 小児科診療における漢方薬の使い方

森こどもクリニック

院長 森 蘭子

本日は小児科診療における漢方薬の使い方についてお話します。漢方医学は約2000年前、漢の時代に中国で書かれた『傷寒論』『金匱要略』に葛根湯などの漢方薬が登場するのが始まりです。日本へは、遣唐使などによって書物が運ばれ、江戸時代以降、日本独自の漢方が盛んになりました。そして、現代では薬価収載され西洋医学を学ぶ我々も手軽に処方することが可能となり、更に薬理的な検討が進み、作用機序が少しずつ解明されています。

漢方を小児に使うにあたって、漢方薬の難しいことは後回しにして、まずは処方してみてください。初めから上手いかなくて当然。上手くいった時に、どうして効いたかを考えてみます。そして少しずつ東洋医学的な知識を積み重ねれば、より深く、幅広く使えるようになるでしょう。

漢方薬は、西洋医学で上手くいかない場合、同じ疾患を繰り返す、西洋医学で病気と捉えず治療がない場合、また西洋薬の副作用の軽減などを目的として使います。漢方薬は西洋医学を補完する手段です。処方する前に必ず西洋医学的な解決方法がある疾患を除外することが大切です。それでは、いろいろな疾患や状態に使用する漢方薬について解説します。

上気道炎を繰り返す易感染性には、小建中湯または小柴胡湯が適しています。やせ気味で、胃腸が弱く顔色が青白いタイプには小建中湯、食欲はあり、快食快便、色白でぼっちらりとしたタイプには小柴胡湯を使います。小柴胡湯は、それまで一度も風邪

### 上気道炎を繰り返す、易感染性

- 小建中湯（しょうけんちゅうとう）  
胃腸が弱く、顔色が青白い  
痩せていて弱いタイプ
- 小柴胡湯（しょうさいこうとう）  
食欲はあり、快食快便  
色白、ぼっちらりとした感じ

をひかなかった子が入園後に何度も上気道感染症を繰り返すというようなケースに効果的です。

中耳炎の場合には、先ほど述べた小柴胡湯の他、十全大補湯が有効です。十全大補湯は、耳鼻科の先生方による多施設共同研究により有効性が確認されています。滲出性中耳炎には、小柴胡湯と五苓散を合わせた柴苓湯を用います。

鼻症状、特に鼻閉については、漢方薬が極めて有効です。葛根湯加川芎辛夷は鼻閉・後鼻漏のファーストチョイスとして、鼻炎・アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎などの急性・慢性症状に使えます。辛夷清肺湯は、後鼻漏・膿性鼻汁・副鼻腔炎などが慢性に経過したものに適します。鼻症状に対する漢方薬のメリットとして、抗ヒスタミン剤と比較して、眠くならない・痰の喀出を妨げない・口渇がないなどが挙げられます。また、喘息発作時にも使用が可能で、痙攣の既往歴・家族歴がある症例にも使うことができます。鼻閉に効果がある漢方薬は、大変まずくて飲みにくいのですが、鼻づまりがひどいと味や匂いを感じにくく、意外にも飲んでくれる場合も多いものです。鼻づまりが解消すると飲めなくなりますので、投与を中止します。

次に腹部症状です。反復性腹痛・食欲不振には小建中湯を投与してください。小建中湯は胃腸虚弱のファーストチョイスです。痩せていて食が細いタイプ、痙攣性の痛みが強い下痢・便秘どちらの症状にも応用可能です。胃もたれ・食欲がないなどのいわゆる functional dyspepsia ; FD の場合には六君子湯を用います。小建中湯、六君子湯で効果がない場合、心因が関与する場合には柴胡桂枝湯を用います。

下部消化管症状の下痢には、小建中湯がファーストチョイスです。クーッとさしこんで痛みを感じ下痢が生じる場合に使います。お腹が冷えて下痢をする場合には、真武湯を用います。食欲不振と下痢が続く場合、人参湯を用います。乳児期の長引く下痢、いわゆるトドラーの下痢にも効果があります。

### 中耳炎を繰り返す

- ・小柴胡湯（しょうさいこうとう）
- ・十全大補湯（じゅうぜんたいほうとう）
- ・柴苓湯（さいれいとう）  
小柴胡湯+五苓散  
滲出液中耳炎

### 鼻症状（特に鼻閉）

- ・葛根湯加川芎辛夷  
（かつこんとうかせんきゅうしんい）  
鼻閉、後鼻漏のファーストチョイス  
鼻炎、アレルギー鼻炎、副鼻腔炎  
急性、慢性ともに使用可
- ・辛夷清肺湯（しんいせいはいとう）  
後鼻漏、膿性鼻汁、副鼻腔炎、  
慢性に経過したものに適する

### 反復性腹痛・食欲不振

- ・小建中湯（しょうけんちゅうとう）  
胃腸虚弱のファーストチョイス  
痩せ型、食が細い、偏食  
便秘・下痢どちらも可
- ・六君子湯（りっくんしとう）  
胃もたれ、食欲無い  
functional dyspepsia
- ・柴胡桂枝湯（さいこけいしとう）  
上記2処方無効、心因が関与する場合

### 下部消化管症状（下痢）

- ・小建中湯（しょうけんちゅうとう）  
クーッと差しこむ、腹痛伴う下痢
- ・真武湯（しんぶとう）  
お腹が冷えて下痢
- ・人参湯（にんじんとう）  
食欲不振と下痢  
乳児の長引く下痢（トドラーの下痢）

次に下部消化管症状の便秘です。大建中湯は腹部膨満感、ガスが多い場合の便秘に用います。腹痛を伴う便秘には小建中湯、また大建中湯と小建中湯を両方混ぜて飲ませる中建中湯が有効な場合もあります。桂枝加芍薬大黄湯は比較的速やかに作用して排便を促しますので、頓用的に使用可能です。

漢方薬は長く飲まなければ効果がでないと思われていますが、即効性がある漢方薬もあります。急性胃腸炎の嘔吐に使う五苓散です。急激に嘔吐が始まり、喉が渇くが少量の水分を摂取しても嘔吐してぐったりしてしまう場合に用います。このような時には五苓散を少量ずつ頻回に飲ませます。嘔吐している時に、まずい漢方薬を飲ませるのは難しいものです。微温湯に溶かして注腸する、あらかじめ作る手間がかかりますが、坐薬にして投与する方法があります。このような経直腸投与は医師の監視

の下、慎重に行う必要があります。しかし、経直腸投与は大変有効で、外来で点滴をすることが少なくなります。

夜泣き・疳の虫には甘麦大棗湯がファーストチョイスです。キーキーというタイプ、眉間に静脈の怒張が見られる場合には抑肝散を用いてください。甘麦大棗湯は即効性があり、飲んだその日からピタリと夜泣きが止まることもあります。抑肝散は泣く間隔が延びてきて、段々と良くなるという効き方です。両者が少しずつ効果のある場合には、合わせて飲ませることも有効です。抑肝散には母子同服が有効です。患児の治療に必要な薬剤を患児とともに母親にも疾患の有無に関わらず投与する方法で、夜泣きで疲れた母親の精神状態が安定することで、患児の状態も改善することが期待できます。

このように有効性のある漢方薬ですが、服用が困難であるという声をよく聞きます。子どもに漢方薬を飲ませる方法について解説します。飲ませる方法としては、そのまま粉薬として飲む、溶いたものを飲む、何かに混ぜて飲むという三つの方法があります。

そのまま飲む場合は、少量の水をあらかじめ口に含んでから粉を流し込むようにすると上手くいくでしょう。乳児は味覚が未発達で漢方薬を飲ませるには大変適しています。最高にお腹がす

### 下部消化管症状（便秘）

- 大建中湯（だいけんちゅうとう）  
腹部膨満、ガスが多い
- 小建中湯（しょうけんちゅうとう）  
虚弱者、腹痛を伴う便秘
- 中建中湯（ちゅうけんちゅうとう）  
大建中湯、小建中湯無効例
- 桂枝加芍薬大黄湯  
（けいしかしゃくやくだいおうとう）  
頓用的に使用可

### 急性胃腸炎の嘔吐

- 五苓散（ごれいさん）
- 急激に始まる嘔吐、喉が渇くが少量の水分でも嘔吐してぐったりする状態
- 経口投与：少量ずつ頻回に飲ませる
- 経直腸投与
  - 注腸：微温湯に溶かし肛門から注入
  - 坐薬：自家製剤として予め準備する
  - 経口投与困難例に有効
  - 医師の監視の下、慎重に投与する

### 夜泣き・疳の虫

- 甘麦大棗湯（かんばくだいそうとう）  
甘く飲みやすい、ファーストチョイス
- 抑肝散（よくかんさん）  
キーキーというタイプ  
眉間に青筋が立っている
- 母子同服  
母親も同じ薬を服用  
母親の心理状態を落ち着かせる



いているタイミングで、指先を濡らし粉をとり、子どもの口の中に塗りつけます。オブラートを  
利用する場合、袋形になっている製品が便利です。

1回量が多ければ分けて、きっちりと折りたたむよ  
うに包みます。水に浸して周囲を湿らせ多めの水で  
ゴクッと一気に飲み込みます。そのようにすれば、  
口腔内に接触しても、すぐには溶けないので上手に  
飲み込むことができますでしょう。

溶かして飲む方法です。お湯と粉を混ぜてもすぐ  
には溶けないので、少し放置すれば溶けるでしょ  
う。また、電子レンジを短時間使用するのも構いません。溶かしたものに甘いものを入れて飲ま  
せると飲みやすくなります。

何かに混ぜて飲ませる場合、混ぜるものは、水あめ、1歳以上に限りますが蜂蜜、便秘薬のマ  
ルツエキス、ジャムなどドロドロとした甘いものがよいでしょう。液体には完全には溶けません。

混ぜてもザラザラ感が残ります。混ぜる前にすり潰  
すと少し解消します。苦味のある薬は酸味のあるも  
のと混ぜると苦味が増します。ココアやチョコレ  
ートと混ぜると良いでしょう。桂枝（シナモン）が含  
まれる小建中湯などはリンゴとの相性が良いので  
リンゴジュースやリンゴのジャムと混ぜて飲ませ  
てください。アイスクリームやシャーベットなどの  
冷たいものは苦味を感じにくくさせますので、苦い  
薬を飲む時に有効です。

副作用について解説します。一般に小児では、漢方薬の副作用は多くありません。含有成分の  
アレルギーによるもの、生薬そのものの薬理作用によるものがあります。

小麦・大豆・胡麻にアレルギー反応を起こす場合、  
強い牛乳アレルギーで乳糖に反応する場合には含  
有成分によるアレルギー症状が起こる可能性があ  
るので注意が必要です。

生薬自身の薬理作用によるものとしては、麻黄に  
よる易興奮性・寝つきが悪くなるなどが知られてい  
ます。また最近では小柴胡湯など柴胡剤の長期連用  
による出血性膀胱炎が報告されています。



- 漢方薬服薬の際に混ぜるもの
- 水あめ はちみつ メープルシロップ 黒蜜
  - マルツエキス
  - チョコレートシロップ チョコを溶かしたもの
  - ココア コーヒー牛乳 ミロ（麦芽飲料）
  - お菓ゼリー
  - ジャム：イチゴ アップル ブルーベリー
  - シャーベット アイスクリーム
  - ヨーグルト 牛乳 コンデンスミルク ヤクルト
  - ジュース類：りんご ぶどう レモン味 サイダー
  - ごまペースト ピーナッツバター
  - 味噌 梅干し 海苔の佃煮

- 主な副作用
- ① 含有成分のアレルギーなど
    - 小麦：甘麦大棗湯
    - 大豆：黄耆建中湯など黄耆を含む処方
    - ゴマ：消風散、紫雲膏など
    - 乳糖不可の乳アレルギー：多くのエキス剤
  - ② 生薬自身の薬理作用によるもの
    - 麻黄：易興奮、寝つきが悪くなるなど
    - 甘草：偽アルドステロン症（小児ではまれ）
    - 小柴胡湯など柴胡剤：出血性膀胱炎

漢方薬は西洋医学で改善が見られない場合でも、解決方法が見出せる可能性があります。それは苦しい症状で悩んでいる患者や保護者にとって希望の光になります。漢方薬を上手に使うことで、患者・保護者の QOL が向上します。そして、処方するわれわれも、不定愁訴や些細な困りごとを相談されるのが苦にならなくなります。漢方薬によって一人でも多くの子どもたちが笑顔になることを願います。

「小児科診療 UP-to-DATE」

<http://medical.radionikkei.jp/uptodate/>